

- 問1 面積が約83,424平方キロメートルと都道府県で最大であり、多くの外国人観光客も訪れる北海道において、2005年に世界自然遺産に登録された半島はどこか。周辺にはラムサール条約に登録された湿原も存在し、豊かな生態系が守られている。 (2017年 愛知公立入試 類似)
1. 知床半島
 2. 積丹半島
 3. 根室半島
 4. 下北半島
- 問2 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山公立入試 類似)
1. 国後島
 2. 択捉島
 3. 色丹島
 4. 歯舞群島
- 問3 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。 (2017年 愛知公立入試 類似)
1. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
 2. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
 3. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
 4. 流水が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。
- 問4 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)
1. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
 2. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。
 3. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
 4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。
- 問5 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
 4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
- 問6 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。
 2. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。
 3. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。
 4. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。
- 問7 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法
 2. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法
 3. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法
 4. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせる栽培する手法
- 問8 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)
1. 海の影響を受けにくいこと、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。
 2. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。
 3. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。
 4. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。
- 問9 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. ユネスコ
 2. 国連児童基金
 3. 世界貿易機関
 4. 東南アジア諸国連合
- 問10 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬公立入試 類似)
1. 暖流である日本海流（黒潮）が温った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。
 2. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。
 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。
 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。
- 問11 北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岡山公立入試 類似)
1. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。
 2. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。
 3. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。
 4. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。
- 問12 ある都道府県の産業別就業者割合を確認すると、第1次産業が約6%、第2次産業が約17%、第3次産業が約77%となっていた。広大な土地を生かした農業が盛んであるため第1次産業の割合が全国平均より高く、観光業などのサービス業が発達しているため第3次産業の割合も極めて高いこの都道府県はどこか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 北海道
 2. 静岡県
 3. 千葉県
 4. 大阪府

答え合わせ・解説

問1	答え 1 知床半島	北海道の北東部に位置する知床半島は、流氷がもたらすプランクトンを起点とした海と陸の豊かな食物連鎖が評価され、世界自然遺産に登録されました。また、北海道には釧路湿原などラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された湿地が数多く存在します。
問2	答え 1 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問3	答え 1 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流氷が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。
問4	答え 1 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問5	答え 1 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。	北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模な経営が特徴です。統計資料によると、北海道の耕地はその多くが牧草地であり、そこで生産される生乳の約8割以上がバターやチーズなどの加工用原料に充てられています。これは、都府県の生乳が主に鮮度が重視される飲用として利用されている状況とは対照的です。
問6	答え 1 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問7	答え 3 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法	北海道は明治時代以降の開拓の歴史的背景から、一戸あたりの耕地面積が他都府県に比べて非常に広いという特徴があります。これほど広大な面積を家族などの少人数で管理するためには、トラクターやコンバインといった大型の機械による作業の効率化が不可欠です。これを大規模・機械化農業と呼び、労働力不足を補いながら高い生産性を実現しています。
問8	答え 1 海の影響を受けにくいいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。	海には温度を一定に保つ働きがありますが、北海道の内陸部は海から遠ざかっているため、その恩恵を十分に受けられません。結果として、夏は暑く冬は厳しい寒さとなり、年平均気温が低い北海道の中でも特に冬の寒冷さが際立つ傾向にあります。台風の影響や多雨な気候は、この地域の主な特徴とは言えません。
問9	答え 1 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 2 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。	北海道の太平洋沿岸には寒流の千島海流（親潮）が流れています。夏、この冷たい海面上に南からの暖かく湿った空気が流れ込むと、空気が冷やされて大規模な濃霧が発生します。この霧がカーテンのような役割をして太陽の光を遮るため、沿岸部では日照時間が極端に短くなり、気温が上がらない「夏でも涼しい」気候が形成されます。
問11	答え 1 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。	北海道のサケ漁などで代表されるこの方法は、自然界での生存率を高めるために、成長の最もデリケートな時期だけを人間が手助けする仕組みです。これに対し、出荷までずっと人間が餌を与えて管理し続ける方法は「養殖業」であり、放流を伴う栽培漁業とは明確に区別されます。
問12	答え 1 北海道	広大な土地を利用した畑作や酪農が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均と比較して高いのが北海道の大きな特徴である。また、観光地としても人気があり、商業やサービス業などの第3次産業に従事する人の割合も非常に高い。誤答選択肢の静岡県は東海工業地域に含まれ、製造業などの第2次産業の割合が比較的高いのが特徴である。